

関係機関の長 殿

東北大学大学院農学研究科長
牧野 周

教員の公募について（依頼）

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

本研究科 附属複合生態フィールド教育研究センター 複合水域生産システム部 助教（任期付）候補者について、下記のとおり公募を行うことになりました。

つきましては、貴機関の関係者に周知方、ご高配くださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 募集人員 助教（任期付） 1 人
2. 分野名 沿岸生物生産システム学分野
3. 応募資格（選考方針）
 - （1） 人格が高潔で、学生に対する教育・研究指導を適切に行える人
 - （2） 水族を対象とした生理学、生態学、遺伝学、海洋環境学のいずれか、または複数の領域に関する識見を有し、博士の学位を有する人（採用年月日までに取得見込みを含む）
 - （3） 上記の研究領域のいずれか、あるいは複数の領域において優れた研究業績があり、国際的な活躍が期待できる人
 - （4） 牡鹿半島沿岸でのフィールドワークをベースに、幅広く水産生物の増養殖や保全に関する研究を行うことのできる人
 - （5） 女川フィールドセンターにおける実験・実習・飼育施設の管理運営に協力できる人
 - （6） 協調性があり、学内の運営に参画できる人
4. 主な研究領域
水族を対象とした生理学、生態学、遺伝学、海洋環境学のいずれか、または複数の領域
5. 主な担当授業科目
 - （1）大学院
「複合生態フィールド科学専門実習（大学院前期課程対象）」（分担）
 - （2）学部
「臨海実習（農学部 1 年生対象）」（分担）
「生産フィールド実習Ⅰ（海洋生物科学コース 2 年生対象）」（分担）
「生産フィールド実習Ⅱ（海洋生物科学コース 3 年生対象）」（分担）
「水圏環境コミュニケーション論フィールド講義（農学部 1 年生対象）」（分担）
（以上の実習は、いずれも留学生が含まれるため英語でのサポート能力が必要）
「Current Topics in Aquatic Organism」（国際学士コース 3 年生対象:英語での講義）」（分担）
 - （3）その他、女川フィールドセンターで行う実習または講義の分担

6. 採用予定年月日 平成30年5月1日
7. 任期 5年(再任なし)
8. 給与 年俸制(本学の就業規則による)
9. 提出書類(全てA4判縦とし、横書き)
 - (1) 履歴書(写真貼付、電子メールアドレスを明記)
 - (2) 研究業績概要(1,000字程度)
 - (3) 研究業績一覧(主要論文3編以内に○印を付け、その別刷り(コピー可)を提出): 原著論文(英文と和文に分け、査読の有無を記載し、コレスポンディングオーサーになっている論文に*印を付ける)、学位論文、著書、総説、受賞、その他の項目に分類して記載
 - (4) 教育業績
 - (5) 教育・研究に関する抱負(1000字程度)
 - (6) 各種研究費採択状況、学会等の活動歴及び国際会議講演(招待講演に*印を付ける)等一覧
 - (7) 応募者を照会できる者2名を記載した書面
 - (8) (1)～(7)のPDFファイルを格納したCD1枚

10. 選考方法

書類選考および必要に応じて面接を行う。

なお、面接を受けていただく場合の費用(旅費等)は自己負担となります。

11. 公募締切 平成30年3月30日(金) 必着

12. 応募書類の提出先

〒980-0845

仙台市青葉区荒巻字青葉 468-1

東北大学大学院農学研究科 沿岸生物生産システム学分野助教選考委員会 委員長

(封筒の表面に「教員応募書類」と朱書きし、簡易書留で郵送又は持参下さい。応募書類は返却しません。)

13. 問い合わせ先

選考委員会委員長 鈴木 徹

電話: 022-757-4452

E-mail: toru.suzuki.a8@tohoku.ac.jp

14. その他

・東北大学は、男女共同参画を積極的に推奨しています。

・子育て支援の詳細等、男女共同参画の取り組みについては下記 URL をご覧下さい。

<http://tumug.tohoku.ac.jp/>

・本研究科に関する詳細は、<http://www.agri.tohoku.ac.jp/index-j.html> をご覧下さい。

・主たる勤務地は附属複合生態フィールド教育研究センター複合水域生産システム部(女川フィールドセンター)となります。

なお、沿岸生物生産システム学分野の教員構成は、次のとおりです。

教授 (空席)

准教授 池田 実

助教 (本公募)

※平成30年4月1日の教員構成(予定)

以上